

浅川地区住民自治協議会だより

# 浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 66 号

発行日 平成31年 1月31日

発行人 山 田 潤

## 年頭にあたって ～「元気なふるさと浅川」を目指して！～



浅川地区住民自治協議会 会長 山 田 潤

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族ともども賑やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。区民の皆様には、日頃より浅川地区住民自治協議会の事業運営に、特段のご支援とご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

昨年は、平成29年3月に完成した浅川ダムに関連工事が終了したのを受けて、3月に「浅川治水対策委員会」が解散になり、長野冬季オリンピックの開催を契機に結成された「浅川スパイラル友の会」も「ボブスレー・リュージュパーク（スパイラル）」の製氷が中止となったことで、4月に解散になりました。

住民自治協議会では、これらの団体が行っていた活動を、長野県や長野市と協力しながら推進しているところであります。

浅川ダム周辺の利活用については、長野県長野建設事務所浅川改良事務所や長野市浅川支所などと昨年より定期的に「浅川ダム利活用懇談会」を開催し、地域の拠点となる浅川ダム展望広場などでの活動やイベントについて協議をしながら進めています。

昨年は、4月から5月にかけて浅川ダムに「鯉のぼり」100匹を掲揚したほか、浅川ダム上流左岸へのアサギマダラが好む「フジバカマの苗」の植栽、浅川ダム展望広場における「農林産物直売」や「環境整備」などを、「浅川地区まちづくりボランティア」の皆さんのご協力を得ながら実施いたしました。

「ボブスレー・リュージュパーク」については、昨年よりスパイラルの職員2名の体制となりましたが、広範囲な草刈り等の作業に困難を来しているとのことで、スパイラルからの要請に基づいて住民自治協議会として草刈りの協力を行っています。

また、3月には「チーム・フロンティア浅川」が、「まちづくり推進委員会」の専任チームとして発足しました。「チーム・フロンティア浅川」では、浅川ダム周辺の遊歩道やブランド薬師参道の整備・維持管理などの活動を進めています。浅川河川敷にホテルの群生地が確認できたのを受け2週間にわたって「ホテル鑑賞会」を開催し、浅川地区の内外から多くの皆様にお越しいただきました。

10月には、浅川地区としては初めて「長野市地域おこし協力隊員」1名を採用し、ワイン用ブドウの栽培などに取り組んでいただいています。

その他、2月に八槨神社の社殿が長野市の有形文化財に指定されたのを受けて、浅川地区全体で社殿の保存と維持管理の活動を支えるため、住民自治協議会の構成団体として「八槨神社保存会」を設立いたしました。

昨年は、全国で異常気象が続いたほか、地震や大型の台風などにより災害が多く発生した年でもありました。幸い、長野県では大きな災害は発生しませんでした。浅川地区においても土砂災害発生の危険性がありますので、あらためて災害対策について注意を払っていきたく思います。

今年は、「浅川地区まちづくり」計画も実践4年目の年となりますが、継続して活動を行うためには多くの皆様の協力が不可欠です。「みんなで創る元気なふるさと浅川」を目指して、引き続き活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

浅川地区が穏やかな一年であることと、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭にあたっての挨拶とさせていただきます。

# 新年祝賀会開催される

1月3日（木）平成最後の浅川地区新年祝賀会が浅川公民館大会議室において来賓、区民120名余が出席の下に開催されました。祝賀会では鏡割り、乾杯の後、北郷神楽保存会の雅やかな獅子舞が演じられ新年の寿ぎに華を添えました。

世界が“孤立化”の様相を呈し未来に対して不安がますます増大するという状況下の中であるからこそ、私たちの生活する地域における“ゆうわ”と“連帯”が不可欠です。浅川地区がより豊かで活力に満ちた良き年になりますよう、区民のみなさんの格段のご協力をお願い申し上げます。



## 浅川地区住民福祉大会開催される！

12月2日（日）第6回浅川地区住民福祉大会が公民館大会議室で開催されました。

住民福祉大会は高齢化・少子化が進む中でひとりひとりが生きがいを持ちお互いに助けあって暮らし続けることのできる浅川をつくることを目的に毎年開催されています。



【湯浅誠さんと熱心に聴き入る参加者のみなさん～満席です！～】

今年の講師には、かつて「年越し派遣村」を主導しホームレスや生活困窮者支援に携わり、常に弱者に寄り添う活動を続けてこられた社会活動家で法政大学教授の湯浅誠さんが「生まれてきてよかったと思える社会を」と題して講演されました。

島根県海士町（ましまつ）における人口2,300人の町がこの10年間で500人以上の移住者を迎え入れている事例を紹介し、“ないものはない”という町の公式キャッチコピーを支える考え方について熱のこもったお話をされました。“ないものねだりより、あるものさがし”“ないものなどない”として、都市にはないもの、地域にしかないものの価値を再認識しその魅力を発信することで、そこに暮らす人々に元気をもたらす都会から人を呼び寄せることもできる、「ふくし」とは「ふだんのくらしのしあわせ」を求め実現することだ、「ふだんのくらしをくりかえすことは当たり前ではない大切なことだ」というメッセージが

力強く参加者の心に響きました。



【功労受賞者のみなさん  
左から「おはなしの森」の外谷さんと  
協力会員の小山さん・宮坂さん・小宮山さん】

講演に先立ち、地域福祉活動功労者として、個人では長年浅川地区において読み聞かせ活動を行っている小宮山昭子さん、小山由美さん、宮坂節子さん、団体では『おはなしの森』に感謝状が贈られました。

今回の大会には若槻住民自治協議会の方々も含めこれまでで最も多い100名余の参加があり、もっと話が聞きたいという余韻を残しながら終了しました。



【福祉健康部会の各団体の活動が掲示されました】

# 浅川小学校創立130周年記念行事行われる！

11月17日（土）浅川小学校の130周年を祝って記念行事が行われました。

浅川小学校は明治22年、現在の押田に浅川村立尋常小学校として設立。以後明治36年に伺去、昭和11年には浅川東条（通称学舎台）、そして昭和51年に現在地に校舎を移しながら多くの卒業生を輩出してきました。



【公開授業参観の様子】

当日は公開授業参観が行われ、全各教室で“昔の遊び”や“地域・郷土に学ぶ”など多彩な授業が行われました。その後体育館において全校生徒400人余によるオペレッタ「ピコピコ星人がやってきた」が上演されました。子どもたちの堂々とした熱演は聴衆に



【全校オペレッタ「ピコピコ星人がやってきた」～感動した!!】



【記念講演・堀井正子さん】



【宮尾弘子校長先生のあいさつ】

大きな感動を呼び起こしました。最後に堀井正子さんが子どもたちの書いた詩を紹介しながら「浅川の子どもたち」と題して記念講演を行い、記念行事の幕が閉じられました。

# ながのまちづくり活動発表会開催される！

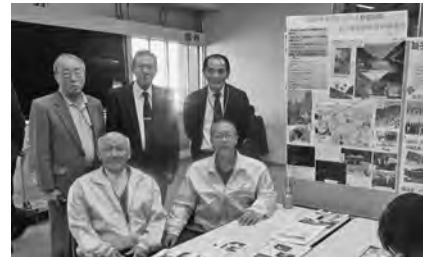
11月30日（金）市役所講堂において平成30年度ながのまちづくり活動発表会が開催され、ながのまちづくり活動支援事業の補助金を受けた住民自治協議会やNPOなど22団体が地域課題を解決するために実施した活動の成果を発表しました。発表後には各団体が7つのグループに分かれ交流会を行い、今後の活動の参考にするためのアイデアやヒントについて情報交換をしました。

浅川地区住民自治協議会からは「チーム・フロンティア浅川」のメンバー5人が参加。竹村美岐雄リーダーが浅川ダム周遊遊歩道の整備、ウォーキングマップ作成、アサギマダラが集うフジバカマの植栽、初めて行った浅川河川敷でのホタルの観賞会などの取り組みを紹介しました。

平成31年度は住民自治協議会としてブランド薬師の十三仏の案内看板設置、秋葉三尺坊への参道整備について補助申請を行う予定です。



【発表する竹村リーダー「チーム・フロンティア浅川」のメンバーと】



【浅川の発表内容】



【活発な交流会】



【発表会の様子】

# 8地区合同成人式行われる！

## ～今年から三輪地区が加わりました～



【会場風景～長野市芸術館前広場～】

冬晴れの陽がさす1月13日（日）、長野市芸術館において8地区公民館合同成人式（浅川・城山・中部・芹田・古牧・三輪・若槻・小田切）が開かれ、新成人1,064名が出席しました。浅川地区からは対象者54名のうち49名（男27名、女22名）が参加しました。

三登山太鼓が奏された後、記念講演としてタレントの三四六さんから新成人への激励メッセージが贈られました。



【新成人誓いのことば～  
長谷川さん（左）と三戸部さん（右）】

式典では芹田地区の長谷川遼亮さんと古牧地区の三戸部彩花さんが新成人を代表して決意と希望に満ちた「誓いのことば」を述べました。来賓代表で加藤市長が祝辞を述べ長野市歌斉唱を行った後、当地区公民館連合会の菊池敏文会長の閉式の言葉を述べ式を締めくくりました。

（教育文化部会・地区公民館連合会）

# 各地区でどんど焼きが行われました！！



【台ヶ窪 (1/13)】



【真光寺 (1/13)】



【浅川東条 (1/13)】



【北郷 (1/13)】



【浅川団地 (1/14)】



【浅川西条 (1/14)】



【同去 (1/14)】



【浅川押田 (1/14)】



【中曽根 (1/14)】

# 浅川の一年を振り返って

浅川支所長 横山 暁

浅川の2018年を振り返り、5つのトピックスにまとめてみました。

## 1 スパイラル閉鎖式（2月）



- ・長野冬季オリンピックでボブスレー、リュージュの競技会場としてオープンしたスパイラルが22年にわたる競技施設としての役目を（当分の間）終える。



## 2 浅川治水対策委員会（3月）、スパイラル友の会（4月）解散

- ・地域のまちづくりを先頭になって引っ張ってきたふたつの団体が解散。その役目が住自協に引き継がれる。



## 3 浅川ダムフジバカマ苑にアサギマダラ飛来（9月）

- ・穴あきダムの貯水池（普段は水がない）の活用。草刈、フジバカマ植栽。菜の花の種を散布。



## 4 地域おこし協力隊員着任（10月）



- ・東京から、宋さん家族が伺去に移住。浅川ダム残土置き場の活用、ワイン用ブドウの栽培を模索。



## 5 浅川小学校創立130周年を祝う会（11月）開催

- ・全校児童によるオペレッタ（歌劇）「ピコピコ星人がやってきた」に感動。堀井正子さんが子どもたちの詩や俳句を紹介。浅川小の子どもたちは元気いっぱい。



2018年干支の戌は、「まもる」につながり、昨年の浅川は大きな災害や火災、事故などがなく、平穏な一年でした。また、戌は「結実」を表す年でもあり、浅川ダム関連事業が全て完了するなど、これまでの努力が報われた年でもありました。

さて、2019年干支の亥には、「勇気」「無病息災」などといった意味があり、「次のステージやステップに向けて、準備していく時期」とも言われています。

支所としては、「猪突猛進」せずにじっくりと、牛歩のごとく着実に課題解決に取り組んでまいります。ちなみに、私の干支は丑です。

# 共に生きる



## 浅川おとこ塾・第二期

6月27日(水)「開塾式&長生きするための呼吸体操」からスタートし、7月は「陶芸教室」、8月「刃物研ぎ」、9月「料理教室」、10月「実践!エコドライブ」、11月は「閉塾式~レコード鑑賞をおいしいコーヒーとともに」全6回。11名の塾生で楽しく、協力し合いながら男性力UP。ぜひ来年もご参加下さいね。お待ちしております。



### 「浅川おとこ塾」に参加して

浅川団地 瀧澤 忠佐

妻の勧めで参加してみた「おとこ塾」、回を重ねるごとにはまってしまいました。特に「料理教室」と「刃物研ぎ」体験は、元々料理が好きでいつも包丁の切れ味が悪く不便を感じていたのが、今では切れ味が良くなり快適に料理をしています。スタッフのご苦労、講師の熱意、親しくなった塾仲間、皆さまのお陰で貴重な体験が出来ました。

いつまでも続くようお願い、来年も是非参加したいと考えます。



## 傾聴 IN 浅川



### 「傾聴とは？」の講座に参加して

浅川団地 丸山 富子

傾聴とはよい聞き手であり自然に心と心が通い合うものと今まで考えていました。しかし、よい聞き手とは相手の言葉の背後にある心の奥の気持ちをキャッチしてそこに共感していくことが傾聴だということを経験させていただきました。

末松先生のユーモアを交えた講義をこれからの活動に活かしていきたいと思えます。

## わたしのまちのたすけあい事業協力会員さん 【浅川地域福祉活動功労者の声】



### 福祉大会に参加して

家事援助協力会員（歴10年） 小宮山 昭子 さん

今回は表彰状を頂けるとい事で出席しました。講演会では、ふだんのくらしのしあわせが福祉だとい事。人と話しながら食事すると唾液が出て歯もきれいになり健康になるとの事でした。

ある島の「ないものねだりよりあるもの探し」の考えで住民が協力した結果、移住者が10年で500人もいたとの話にも驚き、脳が活性化された思いです。顔見知りの人と会話もでき、笑って、楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。

### 家事援助に携わって

家事援助・資源回収協力会員（歴10年） 宮坂 節子 さん

最近高齢者の独居、夫婦二人住まいが多くなっています。草取り、家の掃除等ごく日常の出来た事が、人様の手を借りる様に。お手伝いに何うと「ご苦労様」「ありがとう」と云われる。あ、役に立っているんだと嬉しくなる。私たちが普通にやっている『その普通』が出来ないと。決して他人事では？明日は我が身？ 地域に「たすけあい事業」があるので心強く思っています。

### 家事援助に携わって

家事援助・資源回収協力会員（歴10年） 小山 由美 さん

還暦を前に、何かしなければと思っていた時、たまたま夫が運転していた福祉自動車を見て、私にもできる事を、と思い協力会員に登録しました。時間が許す限り、草とり掃除と参加してきました。先輩協力会員から利用者さんとの接し方等教えてもらい、大きなトラブルもなく10年が過ぎました。利用者さんの希望も多様化しています。協力できるだろうが不安になる事もありますが、出来る時間に出来ることを続けていきたいと思います。



### 地域福祉功労者・感謝状受賞にあたり

読み聞かせボランティア（歴10年） おはなしの森 さん

10数年前住民自治協議会の社協ワーカーが読み聞かせボランティア講座を企画しました。半年位の講座には、40名以上の参加者がいましたが講座終了後、いざ活動を始める時には10名にも満たないスタートでした。

他団体の勉強会に参加したり、絵本や紙芝居を購入し練習を重ね活動できる所を開拓してきました。今は浅川地区で、就園前子ども達や、保育園、小学校の読書の時間、高齢者施設に定期的に伺っています。これからも、日々勉強しながら続けていきたいと思います。



## 「無理・無駄・見栄」のない生活のための生活改善運動

ちょっとした生活の見直し『生活改善運動』しませんか？

- ・冠婚葬祭は簡素にする。
- ・出産祝い・病気お見舞い・お通夜などは節度ある金額とし、お返しはなし。

こんな時、浅川地区の生活改善用金封を利用しましょう。

裏面には『浅川地区生活改善推進委員会（浅川社協）の申し合わせにより、お返しはいただきません。』の文面が入っています。

浅川支所内社会福祉協議会にて20枚100円で販売しております。



## その他の主な事業・活動

### 報告 (12月～1月)

#### ☆年末恒例の“しめ縄づくり”行われる

12月16日(日)、“しめ縄づくり”(公民館冬期学級)が行われました。浅川公民館分室に40名余の皆さんが参加。藁選り(わらすぐり)や松の切り出しなど、事前準備に当たった地公連の皆さんに感謝しながら、中島邑二さん(浅川団地)を講師に和やかな時間を過ごしました。皆慣れない手つきながら、真剣な表情で新たな年を迎える「我が家のお飾り」を作りました。

来る年が良い年でありますように！

(教育文化部会・地区公民館連合会)



### 予定 (2月～3月)

☆冬季スポーツ大会(教育文化部会・地区公民館連合会)……………2月10日(日)・浅川体育館

☆男女共同参画推進講演会(総務環境部会・人権啓発委員会(浅川公民館冬期学級))

……………2月24日(日)午後1時30分～3時30分・浅川公民館大会議室

### 「赤い羽根共同募金」にご協力ありがとうございました！

募金総額 **1,470,899** 円

(内訳) 個人：1,267,199円、法人：203,700円

※浅川地区目標額867,000円を超過する額を基本に、住民自治協議会に還元され活動費にあてられる予定です。

#### 広報委員から

昨年10月27日に長野市消防団幹部視察研修で新潟県糸魚川市を訪問しました。平成28年12月22日、ラーメン店の大型コンロの消し忘れにより発生した火災は、焼損面積3万㎡、焼損棟数147棟という大火となりました。糸魚川市消防団長から、強風に煽られ、飛び火によって火災が遠隔地へ拡大し、出火場所の把握が困難だったことや、炎上するも放置せざるを得なかった家屋のことなどをお聞きし、分団長として自分がその現場にいたら何が出来ただろうかと考えさせられる視察でした。

昨年11月半ばから年末にかけて、市内では火災が発生しましたが、浅川地区では年間を通して無火災を達成することができました。一人一人が無火災を願い行動し、新たな一年をまた無火災で過ごせるようみんなで頑張りましょう。

広報委員 松木久益(安全防災部会・消防団浅川分団長)